

修了認定・学位授与の方針(DP)		(1)【専門力】自然科学の幅広い知識と環境・エネルギー工学分野における専門的な知識を有し、高度専門職業人または自立した研究者として必要な能力を有しています。						
		(2)【融合力】独創性豊かで優れた研究・開発能力を有しています。						
		(3)【展開力】専門的な業務に従事するに必要な能力を有し、高い倫理観を備えています						
対応する修了認定・学位授与の方針(DP)の番号		(1)	(1)	(1)	(1)	(1)(2)(3)	(2)(3)	(2)(3)
到達目標	A-1 環境・エネルギー工学の核をなす環境科学に関する専門知識を修得し、それを研究に適切に使うことができる。	A-2 環境・エネルギー工学の核をなす資源科学に関する専門知識を修得し、それを研究に適切に使うことができる。	A-3 環境・エネルギー工学の核をなすエネルギー科学に関する専門知識を修得し、それを研究に適切に使うことができる。	B 環境・エネルギー工学の周辺分野に関する専門知識を修得し、それを適切に使うことができる。	C 環境・エネルギー工学に関する高度な内容の知見を修得し、それらを総括して、研究に関する議論や発表を行うことができる。	D 環境・エネルギー工学に関する専門知識及び研究力を修得し、環境・エネルギー工学に関する実験を長期間にわたって行い、各分野の知識や議論をもとに実験結果を論理的に解析することができる。	E 実験結果と社会を正しく結びつけ、社会実装を行うために必要な社会に対応する能力を活用することができる。	
科目群	環境系科目	資源系科目	エネルギー系科目	材料化学系科目	環境・エネルギー工学専攻演習科目	環境・エネルギー工学専攻実験科目	社会連携基盤科目 or 実践リテラシー科目	
修士論文								
2年	後期	○界面物理化学特論 ○分子機能学特論				◎環境・エネルギー工学演習Ⅱ	◎環境・エネルギー工学研究実験Ⅱ	
	前期		○半導体材料特論	○電池材料特論	○有機化学特論Ⅰ ○分析化学特論Ⅱ			
1年	後期	○環境・エネルギー工学特殊講義Ⅲ ○環境・エネルギー工学特殊講義Ⅵ	○有機電子材料特論	○計算材料科学特論	○高分子化学特論Ⅰ	◎環境・エネルギー工学演習Ⅰ	◎環境・エネルギー工学研究実験Ⅰ	○科学技術英語
	前期	○地球科学特論	○環境・エネルギー工学特殊講義Ⅰ ○環境・エネルギー工学特殊講義Ⅴ	○光触媒材料特論	○材料科学特論Ⅱ			○環境・エネルギー工学的財産法

1. 研究指導教員の指示を受けて他の専攻の講義科目4単位以内を専門科目の選択必修科目の単位に充てることことができる。

(注) 上記1の他の専攻の講義科目は、カリキュラムツリー上に表示していない。